



Yasushi Toyoshima
Violin

©Michiharu Okubo

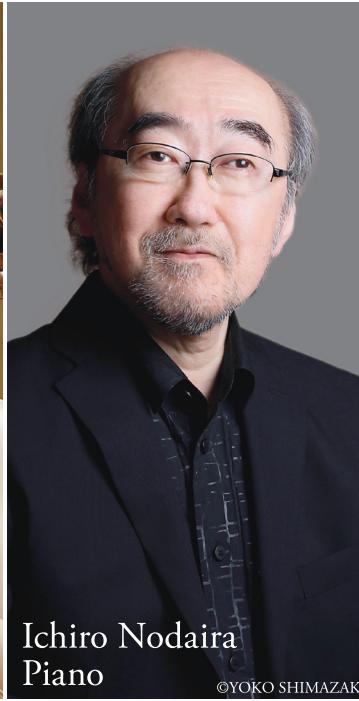


Yoshinobu Kamei
Clarinet



Kaeko Mukoyama
Violoncello

©Michiharu Okubo



Ichiro Nodaira
Piano

©YOKO SHIMAZAKI

メシアン <世の終わりのための四重奏曲> 演奏会

Messiaen "Quatuor pour la fin du temps"

2020年9月27日[日] 14:30開場・15:00開演
(終演予定 16:00)

水戸芸術館コンサートホールATM

料金(全席指定) :一般:3,000円／U-25(25歳以下) 1,000円

※U-25チケットの取り扱いは水戸芸術館のみ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行っており、
定員を半数以下に限定いたします。

チケット発売:2020年8月29日[土]

財団運営維持会員先行予約:8月25日[火] ※電話・WEB予約のみ

水戸芸術館メンバーズ先行予約:8月26日[水] ※電話・WEB予約のみ

主催:公益財団法人 水戸市芸術振興財団

メシアン:世の終わりのための四重奏曲

1. 水晶の典礼
2. 世の終わりを告げる天使のためのヴォカリーズ
3. 鳥たちの深淵
4. 間奏曲
5. イエスの永遠性への贊歌
6. 7つのトランペットのための狂乱の踊り
7. 世の終わりを告げる天使のための虹の錯乱
8. イエスの不滅性への贊歌

*

豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)

亀井良信(クラリネット)

向山佳絵子(チェロ)

野平一郎(ピアノ)

水戸芸術館
ART TOWER MITO

希望の音楽

たとえ苦しい状況に追い込まれたとして
も、人間として誇り高く生きる為に、作曲さ
れた希望の音楽があります。

こうした音楽のひとつが、20世紀を代表
するフランス人作曲家オリヴィエ・メシア
ンが作曲した「世の終わりのための四重奏
曲」です。

第二次世界大戦中の1940年、ドイツ
軍の捕虜となつたメシアンは、ドイツのゲ
ルリッツ(一部は現在のポーランド)にある
収容所「Stalag VIII A」へと送られます。そ
こにはクラリネット、ヴァイオリン、チェロ
の演奏家たちも収容されていました。飢え
と劣悪な環境、冬は零下20度を下回る厳し
い状況の中で、メシアンはこの作品を書き
上げました。そして、自らはピアノを弾き、
3人の演奏家たちとともに、収容所内のバ
ラックにて、数百人の捕虜たち、収容所幹
部、ドイツ人将校たちの前で初演しました。
ヨハネの默示録から着想され、永遠への願
いがこめられた音楽です。

今日の困難を乗り越えるために、皆様に
この演奏会を捧げます。

